

活動記録(2024年下半年) ～出席した主な公務や地域行事など～ (個別の面談や訪問、会合などは除いています)

7月	8月
1 農林水産正副委員長勉強会・県庁駿戦会 役員会	1 直方鞍手線・直方宗像線 道路整備促進協議会 要望
2 宮若きん振興会 通常総会	2 部落解放同盟 鞍手地区協議会 定期大会
8 農林水産委員会、管内(朝倉農林)視察(～9日)	3 大嶋川みどりの会 定期総会
10 県連 政治刷新本部車座対話集会	3 ニューサウスウェールズ州交流促進訪問(～8日)
11 ミヤコワスの会	8 西川改修期成同盟会 総会・役員会
12 直鞍議会議長連絡協議会 意見交換会	9 FOFを支援する集い
13 小竹祇園山笠(～14日)	14 永谷万年願盆綱引き
15 東京陳情出張(～16日)	17 県連 青年局・青年部 合同会議
17 県連 女性議員の育成・登用に関する基本計画P.T	15 わかみや点訳サークル「ふあみりい」30周年記念の集い
19 北九州市・家裁本庁昇格期成会 総会	20 子育て・人材調査特別委員会、管内視察(～21日)
20 2000年公園 定期清海、地域座談会@原田・向田地区	21 自民党宮若・鞍手郡連合支部 夏季研修会
21 山口地区 モルック大会、宮若納涼花火大会	24 貝島百合野山荘の保存と活用を考える会 総会
22 果樹振興議連 視察、宮若・鞍手郡連合支部 役員会	飯塚駐屯地 夏祭り
23 県議会各各種会議	25 松尾勝徳氏 旭日双光章受章 記念祝賀会
27 県連 学生部 定例会、宮田企業交流会 納涼大会	26 県議会各各種会議
28 犬鳴(河)川公園 定期清掃	28 小竹町戦没者追悼式

第50回衆議院総選挙 福岡8区 麻生太郎先生 15回目のご当選

任期満了に伴う自民党総裁選が9月27日に行われ、石破茂氏が新総裁に選出。10月1日には臨時国会が召集され、第102代内閣総理大臣に指名されました。その後、会期末となる10月9日に衆院が解散され、10月15日公示・27日投票の日程で第50回衆議院総選挙が行われました。ここ福岡8区におきましては麻生太郎代議士が出馬され、多くのご支持のもと15回目のご当選を果たされました。私も選対役員の一人として臨みましたが、自民党の一部議員による政治資金不記載の問題に対する批判も多く指摘され、厳しさを実感する戦いでもありました。全国の結果として与党が改選前の279議席から215議席(自民191・公明24)にまで減らし、過半数の233議席を下回ることとなりました。石破政権としては難しい国会運営となると思いますが、私たち地方議員は地域の目の前の課題に真摯に向き合い、今後も麻生太郎代議士をお支えし、党員や住民の皆様と共に郷土の発展のために力を尽くして参りたいと思います。

麻生太郎 候補 得票数(投票率)	
【宮若市】	6,140 (52.38%)
【鞍手町】	3,644 (56.78%)
【小竹町】	1,897 (55.50%)
【8区計】	92,534 (51.13%)

宮若事務所にて当選報告



ご息 将豊さんと街頭演説



農政演説会にて

宮若市千石にて新嘗祭献穀

宮中行事である新嘗祭に献上する米や粟の献穀地として昨年は宮若市千石地区が選ばれ、5月に播種祭、6月に御田植祭、9月に拔穂祭が執り行われました。献穀者は木下武さん(米)と平尾孝市さん(粟)で、宮若良質米生産支援協議会の堀場彦 会長(JA直鞍 組合長)と共に10月に皇居にて無事に献納され、年末に県庁で行われた献納伝達式では私も感謝を申し上げました。



抜穂祭



献納伝達式

献金のお願い

活動基盤である事務所の運営費や定期発行している当報告紙『はなだより』の印刷・郵送費等を補うため、皆様に献金のご協力ををお願いをしております。詳細は事務所からご説明させていただきます。

【注意事項】

1. 献金は個人様からと企業団体様からのどちらも可能であり、それぞれに年間の上限額がございます。
2. 個人献金は日本国籍を有している方に限られています。また、寄付金控除を受けることができます。
3. 企業団体献金は政党支部でお受けさせていただきます。
4. 匿名での献金はお受け取りすることができません。

編集後記

昨年末、放送されたドラマ『海に眠るダイヤモンド』(TBS系)。長崎の端島(軍艦島)が舞台であつたため、同じ旧産炭地ではご覧になった方も多かったのではないのでしょうか。戦時下から高度経済成長期に至る中で家族や国を思い懸命に生きた先人達を思うと度々涙し、些細な幸せを大切にせねばと感じ次第です。また、主題歌である『ねっこ』の歌詞は私の政治信条とも重なり、改めて自身もこう生きたいと思いました。「ささやかな花でいい 大装束でなくていい ただあなたにとって 価値があればいい 誰も気づかない 有り触れた一輪でいい あなたが頂垂れた その先に根を張る そんな花でいい」(花田)

※本紙は私が得た各種資料や調査結果をもとに作成しております。細心の注意を払っておりますが、情報に誤りや表現に不適切な点がございました場合は事務所までご連絡くださいませ。

福岡県議会議員 宮若市・鞍手町・小竹町 選出

はなだより 花田尚彦

毎年三箇日には家族で毘沙門天に登山 (3歳の三男もこのあと自身で登りきりました)

2025 令和7年 1月 8号

1 県消防操法大会(宮若市 成績報告会)  
2 県議会(代表者会議、役員会、議員総会)  
3 自民党県議団 夏季研修会  
4 FOFを支援する会 発会式  
5 定例会(本会議:開会日)、太宰府天満宮 視察  
6 県選務懇話会  
7 定例会(考案日)  
8 鞍手高校大運動会、県連 FUKUOKA 政治塾  
9 子どもフェスタくらて、七福区 敬老会  
10 林芳正先生を囲む会(同会)  
11 定例会(考案日)  
12 定例会(本会議:代表質問)、委員会勉強会  
13 定例会(本会議:代表質問)、代表者会議、議員総会  
14 定例会(本会議:一般質問)、党青年局会議  
15 新嘗祭献穀に係る抜穂祭@千石、万年願 平八月まつり  
16 自民党総裁選 青年局・女性局長 公開討論会@金沢市  
17 定例会(本会議:一般質問)  
18 定例会(本会議:一般質問、決算特別委員会)  
19 定例会(常任委員会)  
20 定例会(常任委員会)  
21 スポーツフェスタふくおか 総合開会式@飯塚市  
22 // バドミントン(青年・障がい)開会式@小竹中  
23 定例会(常任委員会)、県ビルメン政連 懇談会  
24 定例会(本会議)  
25 定例会(決算特別委員会)  
26 定例会(決算特別委員会)⇒花田質問  
27 & S A K E FUKUOKA  
28 ワークライフつづる子ども食堂、舟川なかよし食堂  
29 定例会(決算特別委員会)⇒花田質問  
30 栗原渉君を国政へ送る会

10月

- 1 定例会(決算特別委員会)⇒花田質問
- 2 定例会(決算特別委員会)
- 3 定例会(決算特別委員会)
- 4 定例会(決算特別委員会)
- 5 8区支部選対会議
- 6 宮若市消防団第一分団消防車披露祝賀会
- 7 定例会(決算特別委員会)
- 8 定例会(議事調整日)
- 9 定例会(本会議:閉会日)  
森林・林業・林産業活性化促進議員連盟  
福岡県連合会議 総会、林政セミナー
- 11 自民党県連 女性議員の育成・登用に関するP.T会議  
若宮八幡宮 放生会大祭 御下り神事
- 12 宮若西中学校 文化祭、麻生太郎 宮若市・鞍手郡会議  
若宮八幡宮 放生会大祭
- 14 宮若全国俳句大会 表彰式  
15 麻生太郎候補 神事・出陣式  
16 福岡県私立幼稚園振興大会  
17 筑豊高校同窓会 総会、鞍手美術展  
20 宮若市スポーツフェスタ 2024  
ワンヘルスフェスタ in 筑豊  
22 宮若ふるさと祭、直鞍合唱フェスティバル  
第50回 衆議院議員選挙 投票開票  
28 小竹町 事業調整会議  
暴力追放!地域安全推進!住民総決起大会  
30 西川改修期成同盟会 要望@県庁  
31 鞍手町 事業調整会議、宮若市 事業調整会議

県政報告紙

はなだより

12月定例会 一般質問

12月11日(水) 知事、総務部長、企画・地域振興部長

『デジタルデバйд対策について』

Q)花田

年々デジタル化が進み、デジタル機器の所有者は増えているものの、デジタルデバйдは大きくなっているように察するが知事はどう捉えておられるか。県内のスマホとインターネットの保有率・普及率と、県が行ってきた県民サービスのデジタル化の取組とその成果を併せお答え願う。

とりわけ防災という面においては、スマホやタブレットを所有していない世帯に対して所有を促す必要性和効果はどうお考えか。現在持っていない方々にどのようなアプローチを図っているのかも含めて伺う。また、多くの可能性があるスマホを持ちたくても持てない方や躊躇している方々に対して、県内ではどのような支援をおこなっているか。デジタルデバйд対策に関する知事の考えについて、今後の対応も含めお答え願う。

A)服部知事

総務省の統計によれば、本県のスマホ保有率は、平成30年度の61.3%が昨年8月末時点で78.5%、同じく過去1年間でインターネットを利用した人の割合(普及率)は77.8%が85.0%に増加しており、デジタル化が着実に進んでいると考えている。

具体的には、視覚障がいのある方向けのスマホ教室を年に5回開催しており、昨年度は延べ65人の方が参加された。また、令和3年度から国の事業を活用して、市町村やシルバー人材センターに対し高齢者やデジタル機器の操作に不安をもつ方を対象としたスマホ講座の開催を促している。その内容は、スマホの基本操作やオンラインでの行政手続き、民間サービスの利用方法等を学ぶもので、今年度末までに全ての市町村で開催される予定となっている。

災害情報伝達手段としてのスマホ等については、速報性に優れているという特徴を活かし県で提供している「ふくおか防災ナビ・まもるくん」をはじめとする防災アプリや緊急速報メールなど、様々な主体により分かりやすい防災情報の提供が行われており、その有効性は高いと考えている。こうしたことから、災害から命を守るための備えとして現在スマホを持っていない方が、その所有を検討する動機の一つにもなり得るものと考えられる。

県内ではこれまで、飯塚市、田川市、行橋市において、高齢者のデジタル化に関する格差を解消し、社会とのつながりが継続できるようスマホを購入する65歳以上の方を対象として、1人当たり2万円の購入費助成が行われている。その際、市が指定するスマホ教室の受講や、市の公式SNS、ふくおか防災ナビ・まもるくんのアプリ登録などが交付要件となっており、高齢者によるオンラインでの公共サービスの利用申請や、災害時の情報取得に寄与するものと考えられている。

県としては、このような県内の取組や、議員からご紹介があったような他県の事例をとりまとめ、県内市町村への情報提供を行うとともに、先ほど答弁した高齢者等向けにスマートフォン講座の実施に引き続き取り組むことによって、デジタルデバйдの解消に努めている。

歴史的出来事からの節目の年。あらゆる危機に備える施策の迅速化を。

令和7年(2025年)は様々な節目の年であります。まず戦後80年を迎え、昭和元年からは100年目でもあります。先の大戦で亡くなりになられた多くの御霊に哀悼の誠を捧げますとともに、昭和の戦前戦後という厳しい状況下で日本を守り復興へと導いていただいた先人方に心から感謝を申し上げます。しかし、80年が経つということは当時の状況を記憶している世代が少なくなり(全人口の1割ほどと言われています)、いよいよ戦争を知らない世代ばかりになることを意味します。二度とあのような悲劇を繰り返さないためにも我々は歴史的出来事を学び直し、各国が持続・協調性のある政治・経済の確立を目指さねばなりません。ロシアによるウクライナ侵攻は未だ続き、中東やアジアにおける緊張は高まり続けるばかりです。アメリカではトランプ大統領が再就任されましたので、世界各国が自国第一主義に偏っていかないかが心配です。

また本年は、保守合同による自由民主党立党から70周年でもあります。昨年に行われた衆議院総選挙では与党が15年ぶりに過半数を割りましたが、前回下野した2009年も実はその前の非自民政権からちょうど15年目でした。偶然なのかもしれませんが、いわゆる「〇〇世代」は15年区切りとも言われていますので、政治転換のサイクルもそれに近いのかもしれませんが。今後地元では、福岡県知事選が9月6日(木)告示、23日(日)投票開票の日程で行われ、7月には参院選も行われます。政治不信が叫ばれますが、信頼を取り戻すには今一度政治家は原点に帰り、地域のお一人お一人と向き合い真直に声を聞き政策実現していくほかないと思います。

そして最後に、阪神・淡路大震災からは30年、福岡西方沖地震からは20年が経ちます。近年は南海トラフ地震の予兆とも思えるような地震が身近な海域で起きるなど、いよいよ備えも迅速化していかなければならないようです。私もそのための予算措置を強く訴えてまいります。

福岡県議会議員 花田尚彦



背景の写真は党青年局九州ブロック合同大会にて議事進行の様子



令和6年 自由民主党九州ブロック 青年部・青年局合同大会



【ネット利用率】

＜年 齢 別＞ 70代…67%、80代以上…36.4%  
＜世帯年収別＞ 400万円超…89%超、400万円未満…80%、200万円未満…62.5%  
【スマホ毎月の月額利用料金(通話料・データ通信量・税等を含む)】 平均4,363円  
【スマホ端末の購入金額(割引前)】 平均75,793円  
※総務省「令和5年通信利用動向調査」等より引用

⇒もはや生活の中で必需品となっているスマホが負担感強い。

～ 他県の市町村の対策事例 ～

①高知県 日高村

「村まるごとデジタル化」として「スマホ普及率100%」と「便利に使いこなせるようになるまで」を目標として予算を投じ、令和2年には65%であった普及率が、令和5年10月時点で85%(分母から子どもなどを除いた実質普及率は92%)に増加。

②岡山県 備前市

あるキャリアと提携して1歳以上の市民を対象にスマホを貸し出す事業を行っており、2024年9月時点で1,800台を配布している。乗り換えに掛る端末費や通信費は市が負担し、最大3年間スマホを利用することができる。

③石川県 加賀市

「高齢者のデジタルデバйд解消に向けた取組」として市内の高齢者を対象にマイナパンパーカード対応スマホの購入助成を実施。



## 9 月定例会 一 決算特別委員会一

以下は一部抜粋です。全文は福岡県議会ホームページの「議事録検索」からご覧ください。

## 9月27日(金) 人づくり・県民生活部(男女共同参画推進課、女性活躍推進課)

## 『ジェンダー平等・男女共同参画の推進について』

## Q 花田

近年はどのような狙いで事業を構築しているのか。また、令和5年度の(当時の)女性活躍推進室を含む男女共同参画推進課の事業の予算額や主な事業の実績をお示し願う。

## A 男女共同参画推進課長

主なものとして福岡県男女共同参画センター管理運営業務があり、実績としてあすばるフォーラムの参加人数は延べ7,347人、相談件数が延べ8,526件となっており、いずれも増加傾向にある。相談の内容としては、メンタルの不調に悩む方からのものが多い。

## A 女性活躍推進課長

働く場における女性の活躍推進費として管理職層の女性人材を育成するための階層別研修があり、令和3年度から5年度までの3年間で、100社・団体から延べ249名の方が研修を受講し修了された。

## Q 花田

庁内の他部局や外部団体も男女共同参画・女性活躍について様々取り組んでおられるが、それら組織との連携などはどのようにしているのか。

## A 男女共同参画推進課長

知事を会長、各部長を構成員とする「福岡県ジェンダー平等・男女共同参画行政推進会議」を設置し、関係部局の連携を図っている。この会議において県男女共同参画計画の進捗を確認し、取組状況について報告するとともに今後の対応について意見交換している。

## A 女性活躍推進課長

経済団体や企業に対しては、行政、経済団体、関係団体を構成員とし、知事が会長を務める「福岡県女性の活躍応援協議会」において、各構成団体が推進している女性活躍の取組について情報共有を行うとともに、会員企業への取組の浸透を図など、官民連携で女性が活躍できる環境整備に取り組んでいる。

## 服部知事が掲げる3つの柱

## 『1000億円の人づくり』

について質問

## Q 花田

服部知事が就任してからより具体的に主体的な事業が増えたことは評価するが、もっとスピード感と規模感をもって取り組めないか。部長の本気度をお聞かせ願う。

## A 人づくり・県民生活部長

雇用環境の変化とともに男性・女性ともに価値観が多様化しており、新たな課題への対応も求められている。県民の皆様が必要とされるより効果的な事業を展開できるよう、従来のやり方や関係者にとらわれず、これまで以上に様々な立場の方から潜在的な課題やニーズ、必要な対策などについて幅広くご意見をお聞きできる方法を検討してまいるとともに、県民の代表として日ごろから様々なご意見に接しておられる県議会の皆様方にもご協力をいただきながら、男女ともに個性と能力を発揮できるジェンダー平等・男女共同参画社会の実現に向け取り組んでまいる。

## Q 花田

コロナ禍において雇用状況が全体的に悪化していたことや近年の物価高騰等の影響を踏まえると、第二ステージ(令和5年度～6年度)後も更に丁寧な取組を行っていく必要があると考えるが、福祉労働部長の決意を伺う。

## A 福祉労働部長

第二ステージが終了する令和7年度以降も就職氷河期世代の方々の活躍促進に向けた取組を継続できるよう、機動的な雇用対策実施に向けた安定的かつ自由度の高い財源、仕組みの創設を国へ要望してきたところ。国の令和7年度概算要求においては、就職氷河期世代への支援に活用できる「孤独・孤立対策推進交付金(仮称)」が盛り込まれた。本県としては国の動向を注視するとともに、「ふくおかプラットフォーム」の構成団体である国、市町村、経済団体、労働団体など関係機関と今後の取組みについて協議を進めてまいる。

## Q 花田

これまでと今後の投資を回収するには、水素社会の実現を県内産業の発展にしっかりと結び付けていくことが重要。今後の取組に向けて部長の決意をお聞かせ願う。

## A 商工部長

これまでFCトラックの導入経費や水素ステーションの整備・運営費等の支援を行い、西日本最多となる11台のFCトラックに加え、FCバスやFC船の商業運用に繋がった。また、世界初の液化水素運搬船や国産宇宙ロケットに使用される重要部品といった県内企業による40件の製品化が実現するなど、県内中小企業の水素分野への参入も着実に進んでいる。国は水素供給拠点とFCモビリティ重点地域の指定を行い、ポテンシャルを有する地域を集中的に支援する方針。これまでの成果の蓄積や地域の強みをしっかりPRし、何となくこの指定を獲得したい。



## 『県鳥獣被害対策システム』運用開始

県は1月14日、イノシシやシカ、サルといった野生鳥獣による様々な問題への対策として『県鳥獣被害対策システム』を開発し、運用を開始しました。このシステムはスマホやパソコンで誰でも無料で閲覧・投稿ができ、出没情報(日時や種類、被害など)や捕獲情報を一体的にデータ化していく集約サイトで、全国初となります。県内の野生鳥獣による農作物被害額は約6億円(2023年度)で北海道に次いで全国2番目の多さとなっており、近年は人的被害も増えているため早急な対応が求められていました。効率的な捕獲や被害防止につなげるためには何より情報の収集・蓄積が重要ですので、皆様も積極的に投稿をお願いいたします。(誤りと見られる情報はチェックされ削除していかれます。)

## 10月1日(火) 商工部(自動車・水素産業振興課)

## 『水素産業振興について』

## Q 花田

私は8月、ニューサウスウェールズ州訪問団に加わり、グリーン水素・アンモニアの製造・輸出の世界的拠点の構築を目指す取組を目の当たりにしてきた。グリーン水素をはじめとする低炭素水素を巡り各国で大型の投資計画などの動きが活発化する中、我が県が各国との交流や市場調査を行う狙いについて改めて伺う。

## A 自動車・水素産業振興課長

同州は豊富で安価な再生可能エネルギーに加え、世界最大の石炭積出港など既存のインフラを活用し、低コストなグリーン水素の製造・輸出の世界的拠点の構築を目指している。このため本県と同州は昨年11月、「水素分野における協力促進に関する覚書」を締結し、両地域の企業間マッチングや大学の交流、将来的な輸入の可能性も視野に入れた情報収集に取り組んでいる。

## Q 花田

SWOT分析(内部の強みと弱み、外部の機会と脅威)を用いて見ると、「脅威」は関東・中部・関西など産業が集中する大都市圏になる。「強み」は何か。全国に先駆けて水素産業の振興にこれまで取り組んできた我が県としては、他地域にないアドバンテージを活かしていくことが必要だと考えるが、このことについてご説明願う。

## A 自動車・水素産業振興課長

①大規模地震リスクが低い日本海側最大の水素需要が見込まれる。②国内外からの多様な水素供給が可能。③自動車、製鉄、半導体、運輸業など脱炭素化を急ぐ産業が集積。④九大、ハイトレックなど世界最先端の研究、試験機関による人材育成や社会実装支援の実施。⑤再生可能エネルギー等を活用したクリーンで安価な電力を使った低コストの水素製造が可能。

## ピックアップ 一 質問にて前進！一

## 筑豊緑地 新遊具広場の供用エリア拡大！

私が令和4年6月議会にて質問しておりました「障がいの有無に関わらず誰もが公平に一緒に楽しく利用できる」インクルーシブ遊具(詳しくは『はなだより3号』をご覧ください)が筑豊緑地に設置されることになり、昨年11月末から既に供用されていたエリアに加え、本年1月15日から新遊具広場がさらに拡大されました。そして本年の夏頃には、残りの遊具や駐車場、大屋根広場、介助用ペッドを備えたバリアフリートイレなど全てのエリアが供用開始となり、全国的にもインクルーシブ遊具がトップクラスの充実した公園となります。ぜひとも、ご利用してみてください。



大人と子どもと一緒に乗れるブランコ



車椅子のまま利用できる遊具



## 視察報告

以下は一部概要です。記載外の訪問先や視察で学んだ詳細な情報は、機会をいただけたらご説明いたします。

## 農林水産委員会 朝倉農林事務所 管内視察 【日程】7月8日(月)～9日(火) 【行先】朝倉市、うきは市、久留米市

## ●JA筑前あさくら 朝倉フルーツファーム@朝倉市 『被災農家に対する営農支援について』

平成29年の九州北部豪雨災害の被災農業者に対する営農支援としてJA筑前あさくらが農地の利用権を取得し、パイプハウスや果樹棚などの栽培施設も整備(「活力ある高収益型園芸産地育成事業(令和4年度)」を活用)した上で、農業者に2年間ファームディレクターとして生産管理を委託しています。そして3年目以降に経営譲渡することで、農業者の初期投資の負担軽減や植えつけ後の収穫が無い未収益期間の短縮を実現されています。ここでは主にスモモを栽培しており、早期の成園化や管理作業の省力化・軽労化に向けて「低樹高V字ジョイント仕立て栽培」に取り組み、植えつけから成園までの期間の短縮も図っています。



低樹高V字ジョイント仕立て

この他に、以下の箇所を視察しました。

- 朝倉農林事務所 @朝倉市  
『管内事業の概要説明、管内市町村要望』
- 林農園 @朝倉市  
『梨を中心とした経営の多角化の取組について』
- 雫マルジョウ @うきは市  
『施設概要(木材加工)について』
- 南千広農産 @久留米市  
『農機連携の取組について』

## 福岡県・ニューサウスウェールズ州交流促進訪問団 【日程】8月3日(土)～8日(木) 【行先】カウラ市、シドニー市

## ●オーストラリア人・日本人戦争墓地、カウラ日本庭園・文化センター@カウラ市 『80周年記念式典、献花式、メイ・ウィアー モニリアル モーニングティー』

カウラ(日本軍捕虜脱走)事件から80周年を迎え改めて平和への認識を深めることや、地元にあるトヨタにも関連ある水素事業の促進などの観点から私も訪問団に手を挙げ、服部知事らと共にオーストラリアに行っていました。

1944年8月5日(南半球では冬)深夜1時50分頃、シドニーから約300km西にあるカウラにある連合軍の戦争捕虜収容所で増え続ける日本兵捕虜を分離移動させようとした際、1,104名以上の日本軍捕虜が不名誉を免れるために食器のナイフやフォーク、薪や野球のバット等を武器に脱走を試みたものの機銃掃射で瞬く間に鎮圧され、日本兵の231名が死亡、107名が負傷し、オーストラリア兵も4名亡くなりました。その後、両政府の間で各地の日本人戦没者墓問題が協議され、オーストラリア戦没者墓地の隣に日本政府が永久借地権を取得し、1964年11月に日本人戦争墓地が開設されました。今回は市長主催の80周年記念式典公式夕食会が前夜にあり、州総督(国王代理)参列のもと献花式(日本人墓地では仏教・神道儀式で)が執り行われました。慰霊祭は毎年8月に開催されており、墓地の維持管理は地元住民の方々によって行われています。日本国民として知らなかったことに対して申し訳なさ、何より感謝の気持ちでいっぱいになりました。また事件当時、脱走に成功した数名がいましたが、逃げ込んだ農場のメイ・ウィアー夫人は彼らを気の毒に思い、自宅に招き入れスコーンと紅茶を提供してくださったそうです。そして1週間後、別の場所で捕らえられた脱走兵に対しても「連行する前にスコーンとお茶を与えるべきだ」と主張し、同様に自宅でもてなしたそうです。日豪友好のシンボルであるカウラ日本庭園・文化センターにて、我々もスコーンと紅茶をいただきながら夫人の慈しみの心に触れ、世界の平和を願いました。



服部知事による献花



スコーンと紅茶

## 子育て支援・人財育成調査特別委員会 管内視察 【日程】8月20日(火)～21日(水) 【行先】遠賀町、田川市

## ●福岡県立大学 不登校・ひきこもりサポートセンター@田川市 『福岡県立大学での不登校・ひきこもり支援について』

不登校・ひきこもりに関する相談、支援、情報提供、研修及び研究・調査を行うことを目的に平成19年に設立。県内の20歳未満の方を対象に、大学教員、サポートセンターの専門職員、県立大生(県大子どもサポーター)が一体となり、総合的な支援を実施しています。初年度は770件であった相談数は令和5年度で4,782件となっており、家庭訪問から個別支援「キャンパス・キッズ」と緩やかな段階を経て、学習支援や心理的サポートを行う学内のフリースクール「キャンパス・スクール」には毎年20～30名の県内小・中・高校生が通っています。また、月に1度は保護者の不安や孤立感の低減を目的とした家族交流会も実施しており、総合的な環境支援に取り組んでいます。



センター玄関前にて

この他に、以下の箇所を視察しました。

- 遠賀町子育て支援広場「ぐっぴい」  
@JR遠賀川駅 おんがみらいテラス3階  
『子育て支援施設について』
- 遠賀南学童保育クラブ  
『放課後児童クラブについて』

【県内不登校生徒数(令和5年度)】※公(県立)・私立の総数  
【小学生】 18,123名 (高校生) 3,427名  
お悩みがある方は事務所までご連絡ください。

## 自民党県議団 1・2 期合同視察 【日程】11月4日(月)～5日(火) 【行先】宮城県仙台市、岩手県紫波町

## ●オガールプロジェクト@紫波町 『公民連携のまちづくりについて』

9年間未使用だった駅前の町有地10.7haを活用した公民連携のまちづくりで、町の財政負担を最小限に抑えながら行った総合開発です。町が100%出資する第3セクター「オガール紫波㈱」を設立し民間資本を受け入れながら官民一体の開発を行っており、役場の新庁舎や複合施設、商業施設、スポーツ施設、住宅地など町民が必要とする施設が順次整備され、当初は年間30万人の目標であった来訪者数も平成30年には100万人を超えています。地方の都市開発において外部からの消費を呼び込むことに主眼を置く場合、華美過大な設備投資を行うケースが多く、結果として自治体の負担や施設の利用率低下に繋がります。ここでは事業規模や施設整備の計画にあたり、まずテナント誘致やニーズの市場調査に重点を置き、リスクの少ない不動産開発に努めたためオープン時の入居率が100%を実現しています。



施設風景

この他に、以下の箇所を視察しました。

- 震災遺構 仙台市立荒浜小学校@仙台市  
『防災・減災について』
- JRフルーツパーク仙台あらはま@仙台市  
『地域・農業振興の取組について』
- 楽天モバイルパーク宮城@仙台市  
『ボールパーク構想とその取組について』

1・2期生は常任委員会の委員長や副委員長を務めておりますので、幅広いテーマで視察先を選定いたしました。

## 農林水産委員会 管外視察 【日程】11月13日(水)～15日(金) 【行先】新潟県新潟市、栃木県栃木市、東京都中央区

## ●栃木県農業総合研究センター いちご研究所@栃木市 『イチゴの振興について』

「いちご研究所」是全国唯一のいちご専門研究機関として平成20年に設立され、経営やマーケティングの調査分析機能も有しています。栃木県はイチゴの収穫量・作付面積・産出額がいずれも全国1位で、県農業大学校に全国初の「いちご学科」もあり優れた技術と高い経営能力を持つ「いちご経営者」の育成を目指しています。近年、新たな品種として「とちあいか」を売り出しており、収穫始めが10月下旬と早く、「とちおとめ」より収量が3～4割は多くとどくで大きいそうです。私も試食しましたが歯ごたえのあるシャキッとした食感が特徴的で、これは最大の消費地である東京や関西圏または海外への輸送に適応するための堅さだそうです。しかし、我が県の「あまおう」も負けてはおらず、販売単価では20年連続で全国1位です。生産や販売、輸出などを独占的にできる育成者権は本年1月19日に切れましたが、引き続き苗の供給は県内生産者に限定され、仮に県外産が出ても「あまおう」という商標権はJA全農が保有しているため名乗ることができません。県は新幹線や飛行機を利用して高速流通や販路拡大にさらに取り組み、日本一・世界一のイチゴを目指しています。



「とちあいか」

この他に、以下の箇所を視察しました。

- 新潟県 産業労働部地域産業振興課@新潟市  
『県産酒の振興について』
- 越後のお酒ミュージアム「ぼんしゅ館」@新潟市  
『施設概要について』
- 代官山ASO チェリスト日本橋店@中央区  
『首都圏における県産食材の販売促進について』
- 銀座・新潟情報館 THE NIIGATA@中央区  
『施設概要について』

「とちあいか」は「とちおとめ」の次の主力品種として栃木県が開発したいちごで、2018年に「栃木37号」として品種登録を出願し、2020年に商標登録されました。25年間の育成者権が与えられています。